

平成26年1月24日  
九州地方整備局  
佐賀国道事務所

## 記者発表資料

佐賀唐津道路「きゅうらぎ巖木バイパス」開通のお知らせ

## ～2車線で全線開通～

九州地方整備局佐賀国道事務所が整備を進めてきた佐賀唐津道路「きゅうらぎ巖木バイパス」が開通しますのでお知らせします。

- 開通日 **平成26年 3月 1日 (土)**
- 開通区間 **相知長部田 I Cおうちながへた～岩屋 I Cいわや**  
延長：約2.1 km
- 今回の開通区間は**無料**で通行できる**自動車専用道路**です。

## 【今回の開通により期待される効果】

## ① 混雑の緩和

交通の転換により並行する国道203号の**交通混雑の緩和**が期待されます。

## ② 所要時間の短縮

唐津市相知支所からつしおうちから多久市役所間たくの**所要時間**が約5分短縮されます。

## ③ 安全性の向上（通学等の歩行者）

交通の転換により並行する国道203号の**通学等の歩行者の安全性向上**が期待されます。

## ④ 物流輸送の効率化

大型車両が国道203号の線形不良箇所を回避することが可能となり**物流輸送の効率化**が期待されます。

○開通日の一般車両が通行可能となる時刻や開通式典など、具体的な内容が決まり次第あらためてお知らせします。

お問い合わせは、下記までお願いします。

国土交通省 九州地方整備局 佐賀国道事務所

Tel : 0952-32-1151 (代表)

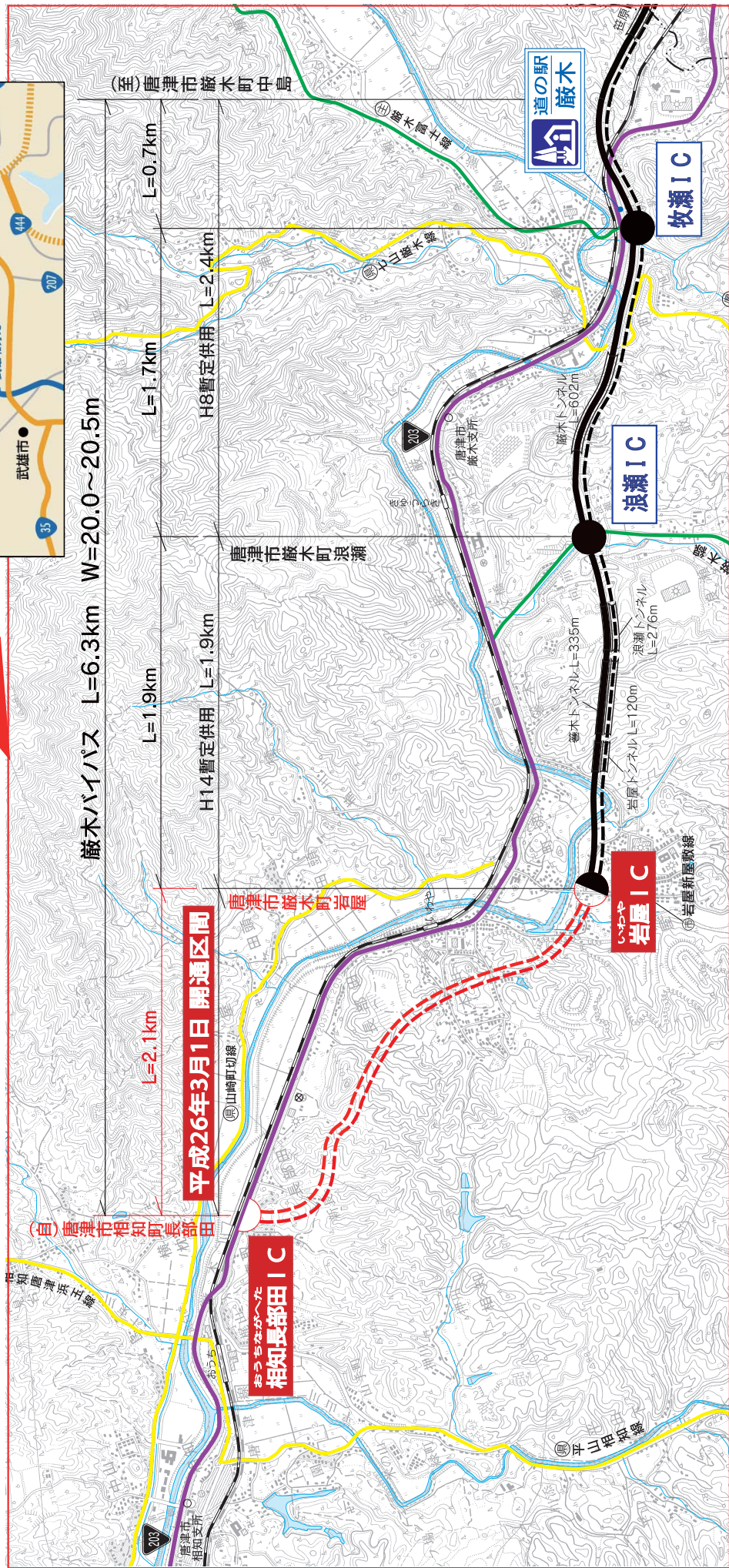


- 技術副所長 かいひろみ 甲斐 浩己 (内線 204)
- 工務課長 てらおこうたろう 寺尾 幸太郎 (内線 411)
- 計画課長 まつおよしひさ 松尾 佳久 (内線 261)



# 1. 蔽木バイパスの概要

- 佐賀県唐津市と同県佐賀市嘉瀬町を結ぶ地域高規格道路「佐賀唐津道路」の一部を構成する全長6.3kmの自動車専用道路です。
- これまでに、「浪瀬IC～牧瀬IC」延長2.4kmを平成8年度、「岩屋IC～浪瀬IC」延長1.9kmを平成14年度に開通してきましたところ。今回、「相知長部田IC～岩屋IC」延長2.1kmが開通します。今回の開通により、蔽木バイパスが全線暫定2車線で開通します。





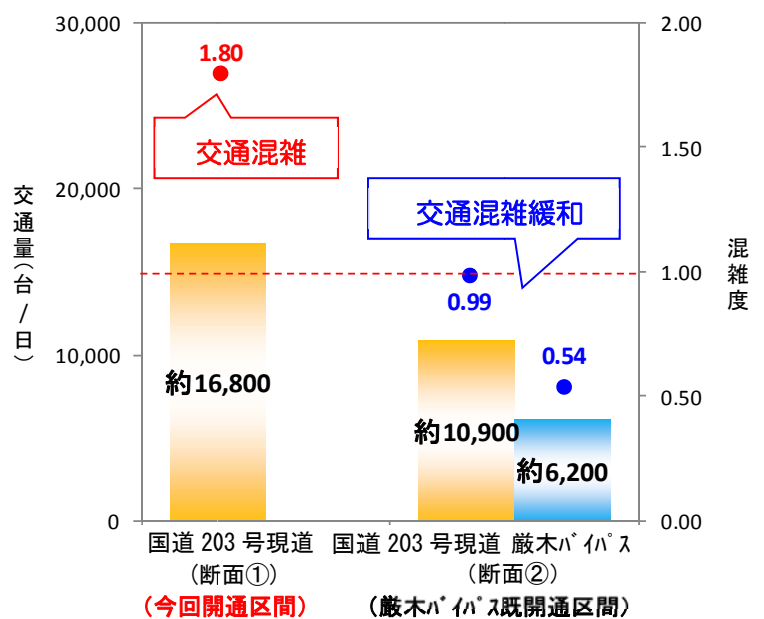
## 2. 厳木バイパスの主な整備効果

### 【効果1】 国道203号の交通混雑の緩和

- 今回開通区間と並行する国道203号は混雑度が1.80と非常に高く、朝夕のピーク時には交通混雑が発生している状況です。
- 相知長部田IC～岩屋IC間の開通により、国道203号と厳木バイパスが直結するため、厳木バイパスへの更なる交通転換が見込まれ、**国道203号の交通混雑の緩和**が期待されます。



▲ 国道203号の混雑状況

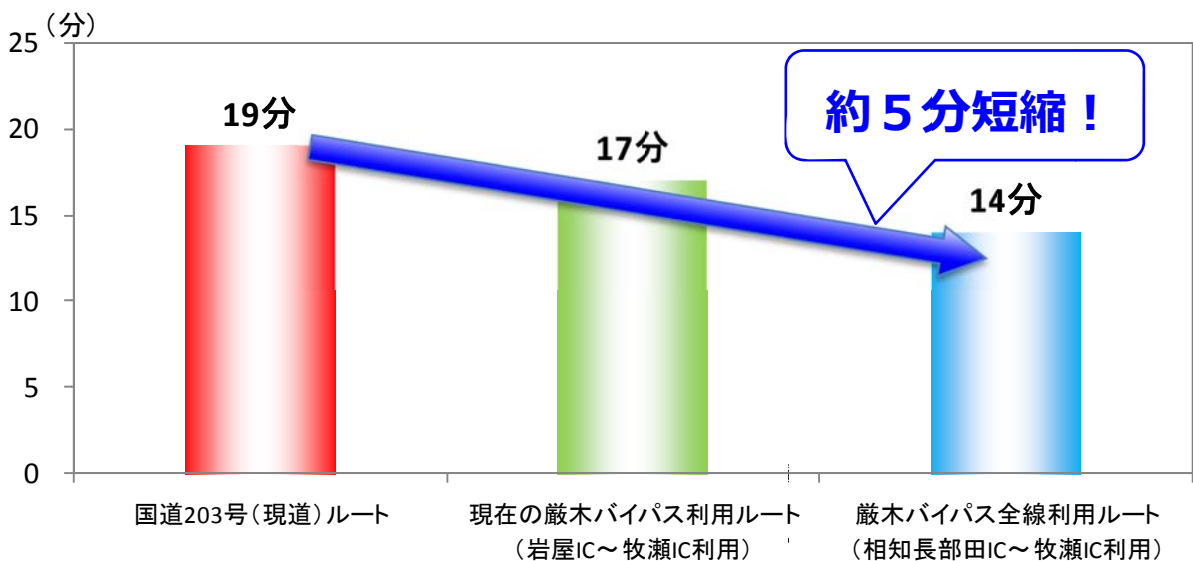
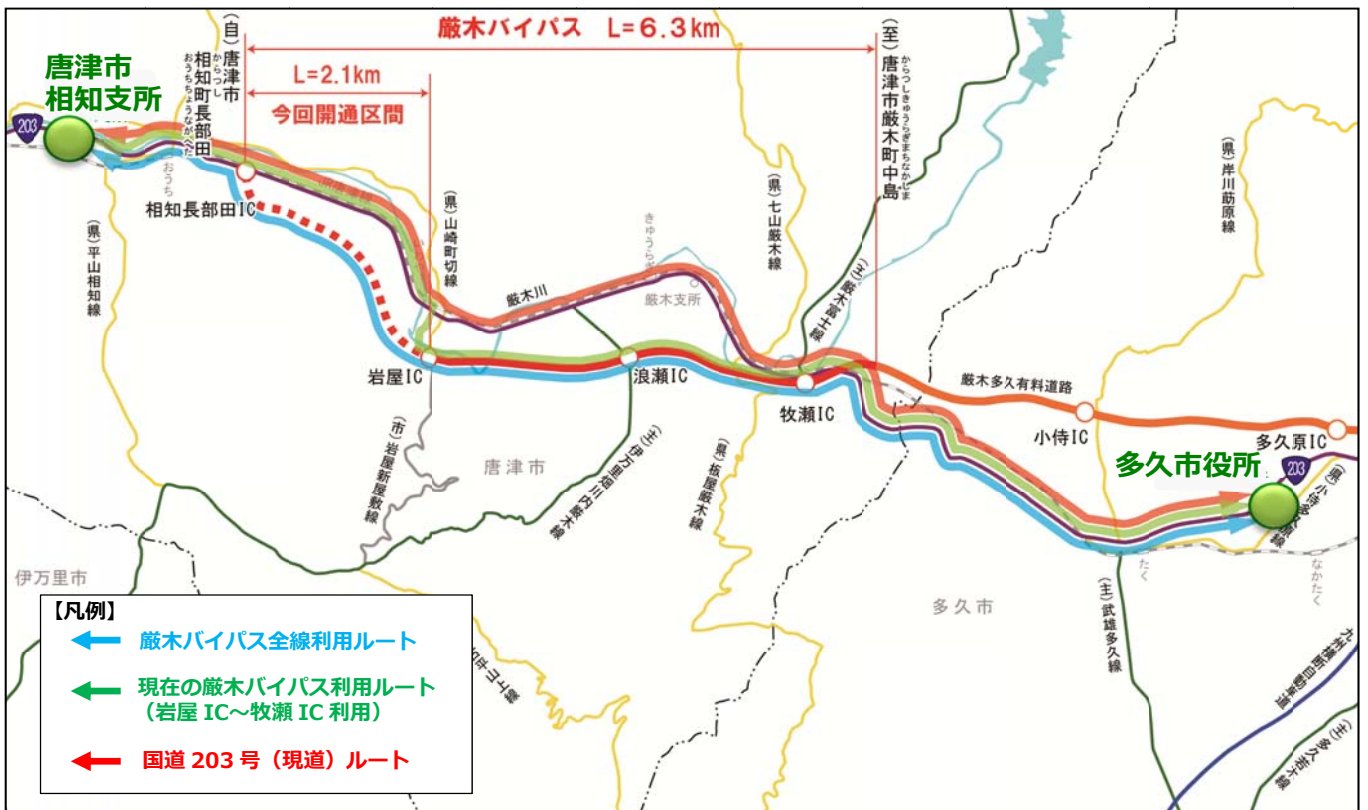


#### ▲ 現況の交通量と混雑度

混雑度：道路の混み具合を表す数値。混雑度1.0以下であれば道路が混雑することなく円滑に走行できる状況。

## 【効果2】所要時間の短縮

- 相知長部田IC～岩屋IC間の開通による、**厳木バイパス全線の利用により、国道203号（現道）ルートに比べて唐津市相知支所～多久市役所間の所要時間が約19分から約14分へと約5分短縮**されます。
- また、現在の厳木バイパス（岩屋IC～牧瀬IC間を利用）ルートと比較しても**約3分短縮**されます。



※H22 道路交通センサスより算出

### ▲ 唐津市相知支所～多久市役所間の所要時間

## 【効果3】交通安全性の向上

- 走行性の高い巖木バイパスに大型車等の通過交通が転換することにより、国道 203 号の交通量が減少し、通学等の歩行者の安全性向上が期待されます。



▲ 歩行者通行状況 (巖木町本山)



▲ 通学状況 (巖木町巖木)



## 【効果4】物流輸送の効率化

- 国道 203 号は重要港湾である唐津港～佐賀方面間を結ぶ重要な物流軸となっているものの、厳木バイパスと並行する国道 203 号にコンテナ車等の大型車の通行に支障をきたす箇所（線形不良箇所や幅員狭小区間等）があり、物流機能が低下している状況です。
- 走行性の高い厳木バイパスの利用により通行支障区間を回避することができ、唐津市～佐賀市間の物流輸送の効率化が期待されます。



▲ 国道 203 号を走行する大型車の状況